

2023

7

JULY

Vol.90

Produce by
Osaka Circular Resource Association

Clean Life

クリーン
ライフ

株式会社ダイカン
三田事業所



TOPICS

- ① デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
- ② 専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて
- ③ 「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」の改訂について
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴うガイドライン等の取扱いについて



公益社団法人 | 大阪府産業資源循環協会

OSK

廃棄物 管理士 講習会

環境省認定 講習会



本講習会は環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されています。

受講対象

産業廃棄物の処理を委託又は受託し、適正に管理していくために必要な法的知識を習得したいと考えている方等

開催期日

開催期日		受講日数	定員
2023年	8月23日(水)	1日	50名
	9月15日(金)	1日	50名
	11月14日(火)	1日	50名
2024年	1月26日(金)	1日	50名
	3月13日(水)	1日	50名

受講料

14,000円(消費税込み)
(税抜額12,728円, 消費税1,272円)

開催場所

国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008
大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階
TEL 06-6941-2433



○地下鉄天満橋駅3番出口から徒歩3分
○京阪電車天満橋駅14番出口から徒歩6分

受講のメリット

- ①本講習会の修了者には、公益社団法人大阪府産業資源循環協会が認定する「**廃棄物管理士**」の資格が付与されます。
なお、資格の有効期間は5年です。
- ②本講習会の修了者は、**堺市循環型社会形成推進条例**に基づく「**産業廃棄物管理責任者**」等として従事することが可能になります。
- ③本講習会の修了証は、大阪府における**産業廃棄物収集運搬業の許可を更新申請するための修了証**等として、ご利用いただけます(法人の場合は、原則として役員等が修了したものが対象です)。
- ④本講習会の受講者は、継続学習制度(CPDS)を利用することにより、多くの行政機関等でCPDSの点数(7ユニット)が行政手続きの技術評価項目としてご利用いただけます。

実施機関

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-1-22(大江ビル3階)

TEL 06-6943-4016

FAX 06-6942-5314

後援

大阪府

CONTENTS

トピックス●

4

- 「マスク着用の考え方の見直し等について」を踏まえた対応について（令和5年3月10日事務連絡）
- 建築物石綿含有建材調査者講習登録規程の改正について
（令和5年3月30日基発0330第13号・国住参建第4754号・環水大大発第2303305号）
- デジタル原則を踏まえたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の適用に係る解釈の明確化等について（令和5年3月31日環循施発第2303315号）
デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
（令和5年3月31日環循適発第23033125号・環循規発第23033110号）
- 専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて（令和5年4月10日事務連絡）
- 「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」の改訂について
（令和5年4月21日環水大大発第2304211号）
- 除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について
（令和5年4月27日基発0427第9号）
- 不要になった新型コロナウイルス感染症対策の備品等（パーティション等）について
（令和5年4月28日事務連絡）
- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴うガイドライン等の取扱いについて
（令和5年5月1日環循適発第2305011号・環循規発第2305015号・環循施発第2305011号）

事業報告●

6

- 協会の活動 ● 協会の会議 ● 他団体会議等への出席
- **クローズアップ1** さんぱいフォーラム2023 – 持続可能な資源循環のための人材確保とDX –
- **クローズアップ2** 役員改選による令和5年6月以降の理事・監事のご紹介
- **クローズアップ3** 協会表彰受賞者・受賞事業所のご紹介
- **クローズアップ4** 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰受賞者・受賞事業所のご紹介

追悼 國中賢吉前会長への感謝と敬意●

13

メールマガジン「Clean Life オンライン」●

14

今後のスケジュール●

18

会員紹介● 株式会社ダイカン 三田事業所

20

バックナンバーのご案内●

24

- Clean Life ● 廃棄物法制等普及促進シリーズ ● よくわかるシリーズ

編集後記●

26

表紙写真：株式会社ダイカン 三田事業所
〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク21-6

TOPICS

1

「マスク着用の考え方を見直し等について」を踏まえた対応について (令和5年3月10日事務連絡)

概要

令和5年2月10日に変更された「マスク着用の考え方を見直し等について」(新型コロナウイルス感染症対策本部決定)の適用後であっても、引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を励行することが求められています。また、これと併せ、「廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」(令和2年9月)を改定することが示されています。



事務連絡本文



改定後のガイドライン

2

建築物石綿含有建材調査者講習登録規程の改正について (令和5年3月30日基発0330第13号・国住参建第4754号・環水大大発第2303305号)

概要

建築物と同様、工作物におけるアスベストの使用実態の調査に必要な総合的専門知識を有する者の養成を適切に行うため、既定の「建築物石綿含有建材調査者講習登録規程」(平成30年厚生労働省・国土交通省・環境省告示第1号)について、新たに「工作物石綿事前調査者」制度を設け、その調査者となるために必要な工作物石綿事前調査者講習の講義内容を定める等といった所要の改正が行われたことが示されています。



通知本文

3

デジタル原則を踏まえたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の適用に係る解釈の明確化等について (令和5年3月31日環循施発第2303315号) デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について (令和5年3月31日環循適発第23033125号・環循規発第23033110号)

概要

「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」(令和4年6月3日デジタル臨時行政調査会決定)や「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和4年6月7日閣議決定)で、代表的なアナログ規制7項目(①目視規制、②定期検査・点検規制、③実地監査規制、④常駐・専任規制、⑤書面提示規制、⑥対面講習規制、⑦往訪問覧・縦覧規制)に関する規制等の見直し(緩和)が求められていることから、PCB廃棄物処理特別措置法と廃棄物処理法等の運用を柔軟なものとするよう、それぞれ、解釈の明確化等が図られています。

PCB廃棄物処理特別措置法
に関する事項排出事業者責任に基づく措置に
係るチェックリスト(改訂版)

廃棄物処理法等に関する事項



同改訂箇所 新旧対照表

4

専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて (令和5年4月10日事務連絡)

概要

前号で紹介した「専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて」(令和5年2月3日環循適発第2302031号・環循規発第2302031号)の趣旨等について、廃棄物処理業の許可制度が適切に運用されるよう、改めて補足がなされています。



通知本文

5

「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」の改訂について (令和5年4月21日環水大大発第2304211号)

概要

令和2年に改正された大気汚染防止法により、災害時におけるアスベストの飛散防止対策を考慮して、建築物等の所有者等が平常時からアスベスト含有建材が使用されているか否か把握すること等を、地方公共団体が促進する旨の規定が盛り込まれたことを受け、「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」(平成19年8月作成・平成29年9月改訂)の第3版が取りまとめられ、その周知・活用が求められています。



第3版のマニュアル

6

除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について (令和5年4月27日基発0427第9号)

概要

令和5年4月1日から改正労働安全衛生規則等が施行されたこと等に伴い、従前の「①除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」、「②特定線量下業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」、「③事故由来廃棄物等処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」が、それぞれ、改められています。



通知本文



①のガイドライン



②のガイドライン



③のガイドライン

7

不要になった新型コロナウイルス感染症対策の備品等 (パーティション等) について (令和5年4月28日事務連絡)

概要

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の新型インフルエンザ等感染症から除外され、5類感染症に位置付けられたことにより、従前の業種別ガイドライン(本件をもって廃止)に基づく新型コロナウイルス感染症対策として活用されてきた検温器、パーティション、二酸化炭素濃度測定器等の取扱いについて、循環型社会形成推進基本法の基本原則やプラスチック資源循環促進法の基本方針等に従い、それらの3R(リデュース・リユース・リサイクル)を実施すること等が求められています。



事務連絡本文

8

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う ガイドライン等の取扱いについて (令和5年5月1日環循適発第2305011号・環循規発第2305015号・環循施発第2305011号)

概要

新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の位置付けが上記7のとおり変更されたことを踏まえ、以降における各種ガイドライン・通知・事務連絡の取扱い等や新型インフルエンザ等まん延時に処理が滞った産業廃棄物の保管上限を一部拡大する措置の適用関係について、留意点が示されています。



通知本文

事業報告

協会の活動

廃棄物収集作業向上研修会 ————— 令和5年3月3日(金) 15時00分/オンライン

- 協会が取り組む電子契約サービス事業について、その法的背景や一般的なスキームを紹介。また、大阪湾広域臨海環境整備センターから第3期事業の概要と展望を説明。参加者数は23名。

講義1 電子契約について

①法的な枠組み 講師 山田浩介(山田法律事務所 弁護士)

②システム概要 講師 宗 大介(weee株式会社 代表取締役CEO)

講義2 大阪湾フェニックス事業の現状と今後について

講師 黒澤正之(大阪湾広域臨海環境整備センター 参事兼企画課長)

産廃塾 ————— 3月10日(金) 13時30分/大江ビル13階 第6会議室

- 参加者を女性に限定し女性の働きやすさをテーマに開催。1月に創設した本会女性部の部長から活動目的を説明。また、参加者が業務上抱える問題について参加者同士の意見がされた。参加者は17名。

講話 女性部会の発足～日頃の仕事のお悩みを皆で共有しませんか～

講師 (公社)大阪府産業資源循環協会女性部長 樋口かのこ

質疑応答 アンケートアプリ「メンチメーター」を使用して参加者の意見をリアルタイムで可視化・共有。

OSK-sign(電子契約エントランスシステム)導入説明会

————— 令和5年4月6日(木) 10時00分/オンライン

- 産業廃棄物処理業者のための契約書の電子化サービス「OSK-sign(電子契約エントランスシステム)」の導入を検討されている方を対象とした導入説明会を実施。参加者数は4名

内容 ①概要説明 ②操作説明 ③よくあるお問合せ(FAQ)

④委託契約全般の相談・質疑応答

協会の会議

理事会

第54回 ————— 令和5年3月22日(水) 16時00分/大江ビル13階 第6会議室

- 令和5年度事業計画、収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みに係る承認の件
- 廃棄物管理士講習会に係る講師増強の件 ほか

第55回 ————— 令和5年5月12日(金) 15時00分/大江ビル13階 第6会議室

- 第11回定時総会の件
- 令和5年度循環型社会形成推進功労者(産業廃棄物関係事業功労者)等環境大臣表彰候補者推薦の件
- 令和5年度環境衛生功労者の知事表彰候補者推薦の件 ほか

臨時 ————— 令和5年6月9日(金) 16時40分/スイスホテル南海大阪8階 白鳥の間

- 正副会長等互選の件
- 担当理事等選任の件 ほか

組織広報委員会

第87回 _____ 令和5年3月10日(金) 11時00分/協会会議室

- Clean Life vol.89について
- 令和5年度事業計画について
- 令和4年度第2回なにわサンパイ塾の開催について

第88回 _____ 令和5年4月10日(月) 15時00分/協会会議室

- 令和5年度本会表彰(功労者・優良事業所・優良従事者)候補者選考の件
- 令和5年度環境衛生功労者大阪府知事表彰候補者選考の件
- 令和5年度循環型社会形成推進功労者(産業廃棄物関係事業功労者)等環境大臣表彰候補者選考の件
- なにわサンパイ塾実施報告について
- 正会員及び賛助会員の退会について(報告)

第89回 _____ 令和5年6月21日(水) 16時00分/協会会議室

- 令和5年6月度入会審査の件
- クリーンライフVol.90発行の件
- 令和5年度第1回なにわサンパイ塾開催の件
- 正会員及び賛助会員の退会について(報告)
- 令和5年度近畿建設リサイクル表彰候補者選考について

危機管理委員会

第64回 _____ 令和5年4月28日(金) 15時00分/協会会議室

- 令和5年度労働安全衛生表彰に係る被表彰者について
- 第三次安全衛生推進宣言について
- 安全衛生活動の現状調査について
- 令和5年度危機管理委員会事業計画について

第65回 _____ 令和5年6月26日(月) 15時00分/協会会議室

- 令和5年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者の推薦について
- 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会及びBCP策定研修会について

法政策調査委員会

第50回 _____ 令和5年3月6日(月)

- 行政処分の事例について
- 関係法令の運用状況について
- インボイス制度説明会の結果報告
- 2023年度事業計画について

第51回 _____ 令和5年5月23日(火)

- 廃棄物処理に関する近時の解釈変更について

収集運搬部会

第70回 _____ 令和5年4月18日(火) 15時00分/大江ビル13階 第3会議室

- 令和5年度事業計画について ほか

第71回 _____ 令和5年5月19日(金) 14時30分/協会会議室

- 廃棄物収集作業向上マニュアルを活用した新任運転手や収集作業員向け動画教材の作成について
- 廃棄物収集作業向上研修会事業について(企画検討)
- 廃棄物処理先進事例調査事業について(候補出し) ほか

第72回 _____ 令和5年6月20日(火) 12時30分/株式会社アイデックス会議室

- 第71回議題の継続審議 ほか

再生処分部会

第38回 ————— 令和5年3月27日(月) 19時00分／心斎橋句彩ゆうや

- 令和5年度事業計画について ほか

第39回 ————— 令和5年7月13日(木) 16時00分／協会会議室

- 第38回議題の継続審議 ほか

青年部

第79回 ————— 令和5年3月16日(木) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 当年度さんぱいフォーラムについて
- 次年度の事業計画について ほか

第80回 ————— 令和5年4月13日(木) 14時00分／協会会議室

- 令和5年度廃棄物処理先進事例調査について
- 令和5年度施設見学会について
- 令和5年度さんぱいフォーラムについて ほか

第81回 ————— 令和5年6月22日(木) /協会会議室

- 第80回議題の継続審議 ほか

女性部

第1回 ————— 令和5年3月27日(月) 16時00分／協会会議室

- 女性部について
- 部会・委員会等について

第2回 ————— 令和5年5月23日(火) 14時00分／協会会議室

- 全国産業資源循環連合会女性部協議会について
- 令和5年度女性部開催日程について

環境基金運営委員会

第9回 ————— 令和5年5月17日(水) 16時00分／協会会議室

- 基金交付事業終了の件
- その他

他団体会議等への出席**公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター 許可申請に関する講習会(業務管理)における講師研修会**

————— 令和5年4月17日(月) 10時00分／オンライン

- 2023年度講習会「業務管理」の講義要領及び時間配分について ほか

大阪府産業廃棄物不適正処理対策会議 市町村連絡部会・取締対策部会・啓発部会

————— 令和5年4月28日(金) (～5月12日(金)) /書面開催

- 令和5年度大阪府産業廃棄物不適正処理防止推進事業計画(案)
- 令和5年度大阪府産業廃棄物不適正処理防止推進強化月間事業(6月期)(案)
- 大阪府産業廃棄物不適正処理対策会議設置規約(改正案) ほか

大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会

————— 令和5年5月29日(月) 16時58分 /意見提出

- 災害廃棄物処理に係る現状及び近畿ブロックにおける令和5年度の取組概要・スケジュール
- 令和5年度の協議会における調査検討事項及び業務内容の詳細
- 協議会ワーキンググループによる意見交換の実施内容

クローズアップ

1



—持続可能な資源循環のための 人材確保とDX—





概要 産業廃棄物処理業が地域社会のインフラとして持続的に機能していくため、企業として、雇用の多様化や魅力ある職場づくり、デジタルを通じた業務の省力化やDXに取り組んでいく必要性とその展望について、基調講演及び事例発表を実施しました。

開催日時 令和5年2月17日(金) 13時00分(15時50分終了)

開催場所 大阪府立労働センター(エル・おおさか) 大ホール(エルシアター)
大阪府中央区北浜東3丁目14番

テーマ 持続可能な資源循環のための人材確保とDX

参加人数 194名(会員67名 非会員127名)

基調講演	演題	GXを加速する資源循環DX	
	講師	瀧屋 直樹 氏 (資源循環システムズ株式会社取締役、高度資源循環・デジタル化推進協議会事務局)	
事例発表	事例1	多様な人材の確保について	
	発表者	元山 琢然 氏 (株式会社タイヨー代表取締役)	
事例発表	事例2	企業内大学を通じた社員育成プロジェクトについて	
	発表者	水越 睦紀 氏 (街クリーン株式会社営業部長)	
アンケートの結果			

クローズアップ!

2

役員改選による令和5年6月以降の 理事・監事のご紹介

令和5年6月9日開催の第11回定時総会において任期満了にともなう役員改選が行われ、以下の理事及び監事が選任されました。任期は令和7年の定時総会開催日までです。また同日開催の臨時理事会で新理事による互選が行われ会長、副会長、専務理事及び常務理事が選定されました。

会長 (代表理事)	片 渕 昭 人	株式会社興徳クリーナー 代表取締役	非常勤
副会長	浜 野 廣 美	大阪ベントナイト事業協同組合 代表理事	非常勤
副会長	井 出 保	株式会社アイデックス 代表取締役社長	非常勤
副会長	濱 田 篤 介	株式会社浜田 代表取締役	非常勤
副会長	塩 見 頼 彦	株式会社レックス 代表取締役社長	非常勤
専務理事 (業務執行理事)	龍 野 浩 一	公益社団法人大阪府産業資源循環協会 事務局長	常 勤
常務理事 (業務執行理事)	河 野 伴 弥	公益社団法人大阪府産業資源循環協会	常 勤
理 事	高 好 健 二	阪南産業株式会社 専務取締役	非常勤
理 事	福 部 忠	株式会社ダイカン 顧問	非常勤
理 事	赤 澤 健 一	グッドホールディングス株式会社 代表取締役社長	非常勤
理 事	垣 中 清 忠	アクティヤマト株式会社 代表取締役	非常勤
理 事	田 中 公 治	株式会社南海興業 代表取締役	非常勤
理 事	樋 口 かのこ	株式会社樋口商店 代表取締役	非常勤
理 事	高 島 浩 司	株式会社共英メソナ 代表取締役	非常勤
理 事	國 中 賢 一	株式会社国中環境開発 代表取締役	非常勤
理 事	下 田 守 彦	大栄環境株式会社 執行役員 社長室長	非常勤
理 事	大 林 正	株式会社大林 代表取締役	非常勤
理 事	東 野 敏 昭	木材開発株式会社 取締役 リサイクル事業本部大阪営業部長	非常勤
監 事	白 坂 悦 夫	株式会社布施興業 代表取締役	非常勤
監 事	山 田 浩 介	山田法律事務所 弁護士	非常勤

クローズアップ!

3

会長表彰受賞者・受賞企業のご紹介

弊会では会員のうち、産業廃棄物の適正処理の確保、不法投棄の防止及び資源循環等の取組みに顕著な功績のあった法人又は個人を、また安全衛生活動の推進により労働災害の減少に努めた産業廃棄物処理業者及びその役員・従業員を表彰する制度を設けております。弊会表彰規程に基づき厳正に審査した結果、以下の方々のご受賞が決定いたしました。誠におめでとうございます。皆様の今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

功労者表彰

國中 雅之 氏
 法政策調査委員会 元副委員長
 組織広報委員会 元委員
 株式会社国中環境開発 常務取締役

優良事業所表彰

一般部門 株式会社ケーシーエス 興栄ケミカル株式会社
 有限会社福商リサイクル
 建設部門 大和建設株式会社 株式会社南都興産

優良従事者表彰

大道 伸吉 氏 株式会社大阪環境
加藤真理子 氏 大阪クリーンテック株式会社
賀戸 貴之 氏 大阪ベントナイト事業協同組合
須見 浩 氏 北大阪清掃株式会社
坂本 嘉余 氏 株式会社興徳クリーナー
宮澤 修 氏 大栄環境株式会社
小野 広将 氏 大栄環境株式会社
小栗 章義 氏 大栄環境株式会社
藤田 英伸 氏 株式会社南海興業
西俣真由美 氏 株式会社南海興業

5年無災害事業所表彰

株式会社エンタープライズ山要 株式会社 浜田

安全衛生活動優良役員・従業員表彰

古賀 宣子 氏 株式会社クリーンクニナカ
砂田 将吾 氏 株式会社興徳クリーナー
於保 信幸 氏 株式会社南海興業

クローズアップ!

4

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長表彰のご受賞

公益社団法人全国産業資源循環連合会では、産業廃棄物処理事業に功績顕著な者、産業廃棄物処理業者の模範となり我国の産業廃棄物処理事業に寄与した企業、多年にわたり産業廃棄物処理事業に従事しその業務に精励し他の模範となる者を表彰する制度を設けており、弊会から推薦した下記の方々がそれぞれご受賞されました。誠におめでとうございます。皆様の今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

功労者表彰

垣中 清忠 氏 理事
適正処理推進協議会収集運搬部会長
アクティヤマト株式会社 代表取締役

地方功労者表彰

福部 忠 氏 理事
危機管理委員長
株式会社ダイカン 顧問

地方優良事業所表彰

弘伸商事株式会社
大幸工業株式会社
都市クリエイト株式会社

優良従事者表彰

福山 徹 氏 飯田建設工業株式会社
松田 紗織 氏 北大阪清掃株式会社
高田 正彦 氏 北口建設工業株式会社
吉田 洋巳 氏 株式会社ケーシーエス
海老原善博 氏 合同衛生株式会社
前川 智司 氏 株式会社樋口商店



國中賢吉前会長がご逝去されました

多年にわたり、本会の会長及び公益社団法人全国産業廃棄物連合会（現・公益社団法人全国産業資源循環連合会）の会長を務められ、産業廃棄物処理業界発展のために多大な貢献をされてきた、株式会社國中環境開発 元代表取締役会長の國中賢吉（くになか・けんきち）様が、令和5年4月5日、ご逝去されました（享年80歳：満78歳）。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、安らかなご永眠とご冥福を、心からお祈りいたします。

國中賢吉前会長への感謝と敬意

國中前会長が突然旅立ったという知らせに、私たちは深い悲しみと喪失感に包まれています。公益社団法人全国産業資源循環連合会の会長として、また公益社団法人大阪府産業資源循環協会の会長として長きにわたり産業廃棄物処理業界に寄与されたその功績は計り知れません。

國中前会長は産業廃棄物処理業界において卓越したリーダーシップと洞察力を持ち、常に先見の明をもって未来を見据えられました。「悪貨が良貨を駆逐する」と業界の体質改善にも取り組まれ、その結果、多くの困難な状況や課題に直面しながらも、常に業界の発展と進歩のために全力を尽くされました。その情熱と貢献は数多くの企業や組織によって感謝され、その人間性と姿勢は私たちにとって大きな影響を与え、模範となる存在でした。

私たちは國中前会長が私たちに与えた多くの価値と影響を永遠に忘れることはありません。その業績と功績は後世に語り継がれるべきものであり、私たちの心の中で生き続けるでしょう。

今、私たちは深い悲しみの中にありますが、國中前会長の遺志を引き継ぎ彼の志を忘れることなく、彼の努力と情熱を称えるためにも、私たちは団結し、彼の理念を実現するために努力を続けるべきです。

國中賢吉氏、あなたの尽力と献身に心から感謝します。私たちの産業廃棄物処理業界はあなたの存在と影響を永遠に記憶し、感謝し続けるでしょう。あなたの思い出と遺産を胸に私たちは進んでいきます。安らかに眠りください。

公益社団法人大阪府産業資源循環協会

会長 片渕 昭人

メールマガジン「Clean Life オンライン」 好評配信中！

会員を対象にメールマガジン「Clean Life オンライン」を配信中です。すでに多数の会員の方にご登録いただいておりますが、まだまだ受付中です。配信ご希望の会員の方は本会ウェブサイトプライバシーポリシーをご確認のうえ、同意された場合には下記要領に従い、配信先メールアドレスのご登録（無料）をお願い申し上げます。

公益社団法人大阪府産業資源循環協会のプライバシーポリシーの開示
<http://www.o-sanpai.or.jp/privacy>

なお、メールマガジン配信にご登録をされますと、ファックスによる情報提供は停止されます。予めご了承ください。

【メールマガジン配信先のご登録要領】

- 次の事項をご記入の上、**office@o-sanpai.or.jp**に送信してください。
 - ①会員の名称
 - ②ご担当者所属・役職・氏名
 - ③電話番号
 - ④配信先メールアドレス（1会員につき1メールアドレスのみの登録となります）
- 送信時の件名は「メールマガジン配信希望（会員の名称）」としてください。

Clean Life オンラインのバックナンバー

令和5年度

3月6日 _____

Vol.625 ■（環境省主催）ビル用マルチエアコンからのフロン類回収ガイドブック説明会開催のお知らせ

3月7日 _____

Vol.626 ■（低炭素関係）脱炭素経営の促進に関する各種ガイドの改定について

3月9日 _____

Vol.627 ■【情報提供】石綿作業主任者技能講習及び一般建築物石綿含有建材調査者講習のご案内

3月10日 _____

Vol.628 ■2023年度「許可・特責講習会」の開催について

3月13日 _____

Vol.629 ■OSK-sign（電子契約エントランスシステム）導入説明会開催のご案内

3月14日 _____

Vol.630 ■（環境省主催）令和4年度バーゼル法等説明会の開催について

Vol.631 ■「マスク着用の考え方の見直し等について」を踏まえた対応について

3月27日 _____

Vol.632 ■「令和5年度 カーボンニュートラル技術開発・実証事業費補助金」の公募について

3月30日 _____

Vol.633 ■（低炭素関係）工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業の公募について

3月31日 _____

Vol.634 ■（環境省）廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの改定について

4月3日 _____

Vol.635 ■（低炭素関係）プラスチック資源・金属資源等の脱炭素型有効活用設備等導入促進事業の公募について

4月4日 _____

Vol.636 ■二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金について

Vol.637 ■労働安全衛生標語の募集について

Vol.638 ■（低炭素関係）地域における太陽光発電の新たな設置場所（廃棄物処分場等）活用事業の公募について

4月5日 _____

Vol.639 ■（低炭素関係）プラスチック資源・金属資源等の脱炭素型有効活用設備等導入促進事業（追加）の公募について

Vol.640 ■（低炭素関係）廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業の一次公募について

4月6日 _____

Vol.641 ■個人情報を含む顧客情報等の適正な管理について

Vol.642 ■事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する件について

4月7日

Vol.643 ■（大阪府）（特別管理）産業廃棄物収集運搬業の電子申請について（大阪府行政オンラインシステム）

Vol.644 ■（大阪府）令和5年度からの更新許可申請における修了証の取扱いについて

4月11日

Vol.645 ■デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について

4月14日

Vol.646 ■（大阪府）「省エネ・再エネ設備の導入支援補助金」公募開始について

4月17日

Vol.647 ■（環境省）専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて

Vol.648 ■（厚生労働省）令和5年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について

Vol.649 ■（厚生労働省）「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」等の周知について

Vol.650 ■デジタル原則を踏まえたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の適用に係る解釈の明確化等について

4月26日

Vol.651 ■2023年度廃棄物管理士講習会の実施について

4月28日

Vol.652 ■新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の療養期間の考え方等について

Vol.653 ■（大阪府主催）「大阪府石綿飛散防止対策セミナー」の開催について

5月1日

Vol.654 ■DX推進ガイドラインのパンフレット等について

5月9日

Vol.655 ■（環境省・大阪府）新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴うガイドライン等の取扱い等について

Vol.656 ■（環境省）不要になった新型コロナウイルス感染症対策の備品等（パーティション等）について

Vol.657 ■「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」が改定されました

5月10日

Vol.658 ■（一社）アジアプラスチック資源循環促進協会主催_プラスチック資源循環フォーラムの開催のご案内

5月15日

Vol.659 ■産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2023年1～3月期】について

5月16日

Vol.660 ■プラスチック資源循環事業に係る設備導入等のアンケート調査について

Vol.661 ■（厚生労働省）除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について

5月25日

Vol.662 ■（低炭素関係）省CO₂型プラスチック高度リサイクル設備導入事業の公募について

6月1日

Vol.663 ■（海上保安庁）令和5年度海洋環境保全推進月間の実施について

6月2日

Vol.664 ■（環境省）「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」愛称を公募

6月15日

Vol.665 ■（低炭素関係）国内資源循環体制構築に向けた再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業の公募について

6月20日

Vol.666 ■セーフティネット保証5号に係る業種指定について

6月21日

Vol.667 ■安全衛生活動の現状調査について（追加のお願い）

6月23日

Vol.668 ■<全国産業資源循環連合会主催>「産業廃棄物処理 e-ラーニング講座（令和5年度）開講」のご案内

Vol.669 ■【厚労省より入札公告のご案内】医療用防護具等の再生処理等業務一式

6月27日

Vol.670 ■エイジフレンドリー補助金について

Vol.671 ■（低炭素関係）廃棄物処理×脱炭素化によるマルチベネフィット達成促進事業の二次公募について

PR

いつの間にか 回収量が減っている！



担当営業は
何をしてるんだ！？

他社に取られて
いるんじゃないか？

顧客の困い込みに課題はありませんか？

- ✓ いつの間にか回収量が減り、解約になっている！
- ✓ 年に数回、大口の回収依頼があったが、いつの間にか来なくなった
- ✓ 毎月回収はあるけど、契約当初と比べると徐々に減少している…
- ✓ いつ他社に取られるかヒヤヒヤしている
- ✓ 担当営業がちゃんとフォローできているのか怪しい！

クラウドス

産廃業者専用クラウドシステム『**CLOUDUS®**』が解決！

＼ 特許取得・業界初の機能を搭載 ＼

排出事業者からの
回収量・頻度の減少を
自動でお知らせ！

特許
取得

顧客の状況変化を
早急にキャッチ



解約を未然防止

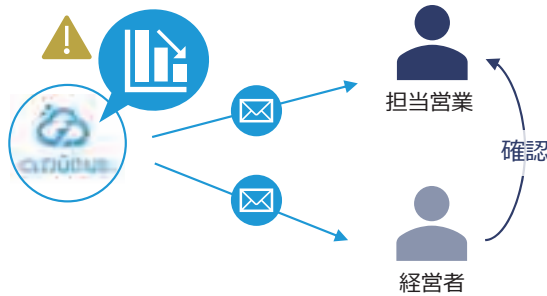


顧客フォローを
サポート

詳しい機能は裏面へ >>

POINT 排出事業者からの回収量・頻度の減少を自動でお知らせ！

過去の受注履歴から回収量の低下をクラウドスが察知。
アラートメールを自動で送信し、担当営業がすぐに対応できます。

**🚨 アラート設定パターン**

- ①指定した回収量を下回った場合に通知
例：A社の廃プラの回収量が、1ヵ月で30t以下になってます！
- ②指定した日数を過ぎても回収がなかった場合
例：A社の廃プラを最後に回収した日から、30日経過しています！

まるごと

会員様 限定特典！ 導入サポート

“導入したのに
使えない！”
を防ぎます！



- ・ 初期設定（利用機能に必要な情報全て）
- ・ データ移行（既存データがある場合）
- ・ 関係者への説明会
- ・ 利用率向上のサポート
- ・ 専用マニュアル
- ・ 困ったときの電話サポート

無料で
充実・安心
サポート

大阪府産業資源循環協会とイーテラスは、パートナーシップ契約を締結しました

社会や産業の構造が大きく変わろうとしている中、公益社団法人大阪府産業資源循環協会では、これまで以上に廃棄物の適正処理と資源循環の安定確保を図るため、デジタル技術等の活用を推進しています。

その一環として、当協会はイーテラス株式会社とパートナーシップ契約を締結し、同社が運営する「クラウドス」の普及に協力しています。



▼クラウドスに関する資料請求などのお申し込みは、下記の項目をご記入のうえ、FAXにてご返信下さい。

貴社名			
お名前		TEL	
フリ			
ご希望の項目にチェックをお入れ下さい。			
<input type="checkbox"/> 資料請求 <input type="checkbox"/> 電話で詳しく聞きたい <input type="checkbox"/> その他（ ）			
特約店	公益社団法人 大阪府産業資源循環協会		



FAX返信

06-6942-5314

（公社）大阪府産業資源循環協会 DX推進共同事業者



イーテラス株式会社 | 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟9階
【TEL】 0120-506-381 【メール】 ariake@e-teras.co.jp

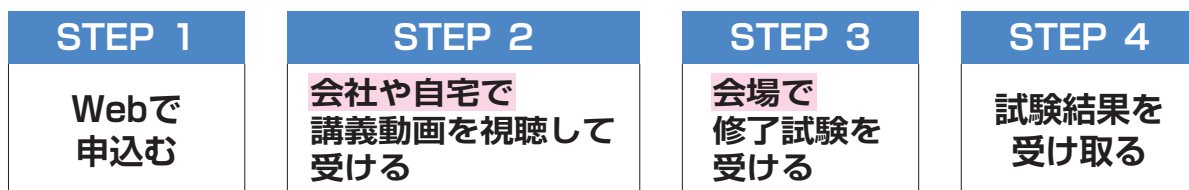
今後のスケジュール

年 月 日	行 事	場 所
令和5年8月2日	OSK-sign（電子契約エントランスシステム）導入説明会	オンライン
令和5年8月中旬	優良認定推進研修会	協会会議室
令和5年8月23日 9月15日 11月14日 令和6年1月26日 3月13日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール ご参照：本紙の表紙裏ページ
令和5年 8月25日～26日	施設見学会	見学先 新日本開発(株)／姫路市 (株)西日本アチューマツクリーン／岡山市 詳細・申込方法等は決まり次第ホームページでご案内
令和5年9月6日	産業廃棄物処理業におけるBCP策定啓発セミナー テーマ：「再考！欠格要件について」	大阪私学会館 講堂 詳細・申込方法とは決まり次第ホームページでご案内
令和5年9月下旬	なにわサンパイ塾 テーマ：労働安全衛生	大江ビル13階 第6会議室 詳細・申込方法とは決まり次第ホームページでご案内
令和5年11月22日	さんぱいフォーラム2023	エルおおさか 南館5階南ホール（大阪府立労働センター） 詳細・申込方法とは決まり次第ホームページでご案内

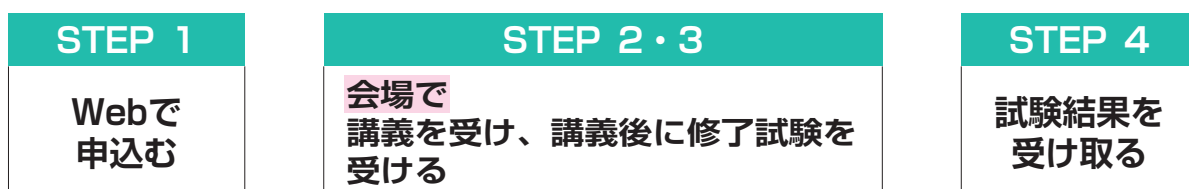
状況によっては変更が生じることがあります

※日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）の講習会にはオンライン形式と対面形式の2つの開催方法があります。いずれもJWセンターのホームページから申し込みをしてください。

オンライン



対面



会員メリットのご紹介

廃棄物処理に関する個別相談を優先的に承っております。ご来所の場合はあらかじめ予約していただくとスムーズです。お電話でも相談に応じておりますのでお気軽にどうぞ。

会員は、公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者が必ず受けなければならない経営事項審査（経審）の加点（20点）対象です。審査に必要な会員の証明書の発行を希望される方は弊社までお問合せください。

会員は廃棄物管理士講習会の受講料が半額になります。その他の弊社主催のセミナーやイベントも無償又は割引が適用されます。

	入会金	会費
正会員	30,000円	収集運搬業 10,000円/月 中間処理業・最終処分業 15,000円/月 ※正会員は半年分ずつ前納
賛助会員	30,000円	50,000円/年 ※一年分を前納

令和5年7月18日現在で正会員265社、賛助会員56社の加入があります。弊社主催のセミナーやイベントに参加され、知識習得のみならず同業者間の繋がり作りにも役立てていただいております。

入会について詳しくお知りになりたい方は弊社までお問合せください。

電話 06-6943-4016

Member

会員紹介

Information

株式会社 ダイカン

C O M P A N Y P R O F I L E

顧
問福
部

忠

インタビュー

代表取締役 吉村 太郎
 本社・本社工場 大阪市鶴見区焼野3丁目2番79号
 堺事業所 堺市西区築港新町3丁31番地
 三田事業所 兵庫県三田市テクノパーク21番6
 東京オフィス 東京都港区西新橋1丁目18番6号
 クロスオフィス内幸町1402号室
 U R L <https://daikan-eco.co.jp>



沿革

1971年3月 吉村興業株式会社設立
 1974年3月 株式会社大阪環境処理センター設立（吉村興業株式会社の業務継承）
 1974年10月 本社焼却工場完成（240t/日）
 1986年1月 本社工場に選別施設設置（800t/日）
 1986年12月 堺事業所開設【13,000㎡】
 1988年5月 本社新社屋完成
 1989年8月 堺事業所焼却工場完成（石川島播磨重工業製：192t/日）
 1992年1月 株式会社ダイカンに商号変更
 1992年3月 堺事業所に選別工場完成（1,000t/日）
 1999年5月 国際環境規格ISO14001の認証登録を取得
 1999年6月 本社焼却工場改造工事完成（三菱重工業製:240t/日）
 2006年4月 燃えがら熔融処理によるマテリアルリサイクル開始
 2008年10月 本社工場第2ピット廃棄物保管建屋完成
 2010年2月 燃えがらのセメント原料化によるマテリアルリサイクル開始
 2011年6月 優良産廃処理業者認定制度取得
 2011年8月 PFOS含有廃棄物に関する処理の実証実験実施（本社工場）
 大阪市・環境省に確認
 2013年5月 堺事業所 新プラント竣工（JFE製240t）
 2013年6月 堺事業所新プラントが経済産業省より再生可能エネルギー発電設備の認定を受ける

INTERVIEW

2014年 4月	窒素パージ破砕機設備設置（本社） スプレー・乾電池・ライターの処理受け入れスタート
2019年12月	東京オフィス開設
2022年 2月	窒素パージ破砕機設備設置（堺事業所）
2023年 1月	堺事業所 熱回収施設設置者認定
2023年 7月	三田事業所開設

50周年を迎える焼却処理の老舗

——御社の概要をお聞かせください。

福部：当社は廃棄物の焼却処理を基幹とする産廃の中間処理業者です。創業は1971年、吉村興業(株)として産声を上げ、1974年に業務継承する形で(株)大阪環境処理センターを設立しました。同年に本社焼却工場を完成し、以来、焼却処理を中核とした事業を展開しています。その後、1992年に商号を(株)ダイカンへと変更しまして、現在は大阪市鶴見区にある本社工場、そして堺市臨海部にある堺事業所、そして今般整備した三田事業所の3拠点で活動しています。

焼却処理に関しては、本社工場と堺事業所にそれぞれ日量240 tの施設を保有。処理困難物であるPFOS含有廃棄物の焼却も可能としたほか、焼却残渣の再資源化フローも構築して、環境配慮に優れた焼却を行ってきました。

——50年にもわたって、焼却処理に取り組まれてきたんですね。

福部：加えて、サーマルリサイクルとして堺事業所では蒸気タービンで最大3300kw/hの発電を行っていて経済産業省・再生可能エネルギー発電設備の認定を受けました。今年1月には「熱回収施設設置者認定」も取得しており、低炭素化・エネルギーの多様化にも貢献しています。

また、建設系を中心とした混合廃棄物の選別処理も行っております。そのほか、スプレー缶やライターなど発火性のある危険な廃棄物を処理できる窒素パージ式破砕装置も本社工場・堺事業所の2拠点に備えるなど、時代の要請に合わせた多様な処理を実現しています。

——そうしたなかで、新たに三田事業所を立ち上げられました。

新田：今般立ち上げた三田事業所では、廃プラスチック類を中心とした混合廃棄物に破砕・選別処理を行い、高品質なリサイクルの実現を目指しています。当社はこれまで焼却処理を中心に手掛けてきたから、今回の廃プラ破砕・選別施設は初めての試みとなります。長い目で処理の精度を高め、拠点として確立していく所存です。

初のプラスチックリサイクルに挑む三田事業所

——三田事業所を新設した狙いをお聞かせください。

新田：新たな事業展開を模索する中で、現在のプラスチックリサイクルの社会的な要請とともに、当社の焼却処理と共存できる事業を考え、廃プラのサーマルリサイクルに白羽の矢が立ったのです。さらに、本社と堺事業所の焼却施設は合わせて年4回の定期修理期間があるのですが、その間を補える施設、という狙いもありますね。他拠点から約1時間でアクセスできる立地も踏まえ、既存施設とのシナジーを考えた施設としました。

INTERVIEW

ターゲットになるのは、廃プラスチック類および廃プラスチック類を含む混合廃棄物。プラントメーカーの㈱リョーシン（富山市）が手掛けた廃プラの破碎選別を行うメインライン（処理能力200t/日）と、破碎困難物の前処理ライン（同40t/日）の2ラインを活用し、主にセメント・製紙メーカー向けにフラフ燃料を生産します。



組織広報委員会メンバーによる取材風景

—具体的な処理フローとしては？

新田：まず、重機を使って搬入物を土間選別したうえで投入し、破碎困難物は前処理ラインの2軸破碎機と磁選機で粗破碎と鉄の回収を行います。続いて1軸粗破碎機で1次破碎し、ディスクスクリーンでふるい分け、30mm以上のものは風力選別機にかけて、金属など重量物は渦電流でアルミを、磁選で鉄を取ったうえで手選別で木くずや硬質プラを回収します。

一方の軽量物は、2系統のバンカーにより定量的に後段の光学選別機（トムソーティング株製）へ投入。ここで塩素系や金属など燃料不適物を取り除いて良質な軟質プラを回収、仕上げの1軸破碎機による2次破碎を経て、圧縮・梱包のうえ、上質なフラフ燃料として出荷する形です。

受け入れの基本ベースは日量100tに設定していますから、処理能力としてはオーバースペックですが、安全上の問題や異物の確認などでラインを止めても十分に安全が担保出来、採算が取れる設計となっています。各装置は部分的に使用することもでき、品質の良いものを途中投入するなど効率的な運用ができる施設としました。

—最近では、発火性の異物がプラリサイクルの現場で課題になっています。

新田：加熱式たばこやモバイルバッテリーなどの発火物は、事前の土間選別で寄り分けて、必要に応じて困難物の前処理ラインに掛けます。加えて、1次破碎後のコンベアを発火物除去ラインとして温度検知器と散水栓を設置するだけでなく、防火ダンパーにより発火物をコンベアから除外する仕組みとしています。

品質管理の面では、仕上げの破碎後にサンプル採取のうえ蛍光X線分析で成分分析し、塩素などの忌避成分を確認する形です。残さ物や不適物は、他事業所の焼却施設で処理できるのが強みですね。



試験運転中の三田事業所を見学

将来のマテリアル利用を目指して

——労働安全対策にも工夫をされているそうですね。

新田：まず、施設そのもののコンセプトとして自動化と省人化を掲げており、メーカー側にも作業人員数を条件に加えて提案をお願いしました。その甲斐あって、実際に現場は通常8人のスタッフで稼働できるようになっています。また、重機類の接近を知らせるタグをヘルメットに付けることで、場内での安全を確保したほか、高精細な場内カメラを16台設置しており、場内に限なく目が届くようにしました。この映像は、本社からも確認できるように調整しています。

施設の保守という意味では、装置の点検項目などをスマートフォンで簡単に確認できるシステムを導入しています。実際の点検箇所や作業を映像で確認できるようになっていますし、保守部品などの在庫数ともシステム上で結びついていますから、発注側も確認が簡単で、業務負荷を下げることにつながっています。

——さまざまな工夫のある新事業所ですが、今後の展望は？

新田：有価物を使った試運転を繰り返して精度を高め、業許可の取得とともに本格的な稼働を開始します。初年度はリサイクル率50%をめどに運用を進め、最終的には80%を目指して稼働率と精度を高めていく予定です。当初はフラフ燃料をメインに製造しますが、将来的にはマテリアルやケミカルで利用できる製品を作っていきたいですね。

先ほど言われた通り、当社は今年で設立50周年の節目を迎えます。その記念すべき年にプラスチックリサイクルという新しい事業をしっかりと確立し、さらに拡大していければ幸いです。

——本日はありがとうございました。



今回の取材では福部顧問のほかにも多くの方にご案内していただきました。
左から村田泰嗣執行役員、福部忠顧問、新田恭之環境部門執行役員兼三田事業所所長、
和田慶之三田環境事業部ピット課職長、宮丸新平三田環境事業部企画課所長補佐

BACK

バックナンバーのご案内

NUMBER

弊会HPで全号公開中

第82号（令和3年3月25日発行）

- バーゼル条約に基づくプラスチックの輸出規制について
- 改正大気汚染防止法の一部施行（令和3年4月1日）について

第83号（令和3年6月28日発行）

- 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた産業廃棄物処理業者が活用できる支援策
- 太陽電池モジュールの適正なリユース促進ガイドライン

第84号（令和3年9月27日発行）

- 廃棄物処理の脱炭素化

第85号（令和3年12月22日発行）

- 新たなアスベストの飛散防止対策 — 関連規制の改正 —

第86号（令和4年3月28日発行）

- さんばいフォーラム — 2050年CNに向けた脱炭素と資源循環 — 終了報告
- プラスチック資源循環促進法の施行に向けて

第87号（令和4年7月28日発行）

- ①廃棄物熱回収施設設置者認定マニュアルの改訂について
- ②「バイオマス発電燃料等に関する廃棄物該当性の判断事例集」の更新について
- ③リチウム蓄電池等処理困難物対策集の公表等について
- ④感染性廃棄物処理マニュアルの改定について

第88号（令和4年11月28日発行）

- ①プラスチック資源循環促進法の施行について
- ②サル痘患者の発生を受けた感染性廃棄物の取扱いについて
- ③PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理について
- ④産業廃棄物処理業者を対象とした令和4年度政府支援策について

第89号（令和5年3月24日発行）

- ①地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行等について
- ②石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行について
- ③廃エアゾール製品等の排出時等の事故防止のための周知徹底について
- ④専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて

クリーンライフ

廃棄物法制等
普及促進シリーズ

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.4

第2版 2014年12月1日発行

- 産業廃棄物処理業におけるヒヤリ・ハットの事例分析

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.5

第3版 2019年3月1日発行

- 廃棄物収集作業

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.10

第2版 2019年11月1日発行

- 産業廃棄物処理業に関するBCP策定ガイドライン

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.12

2017年12月1日発行

- 廃棄物処理先進事例調査報告書

公益社団法人
大阪府産業資源循環協会の

分かりやすく
コンパクト

必携の
一冊

よくわかるシリーズ1

産業廃棄物の処理の委託をするときに不可欠なマニフェストのしくみを分かりやすく解説！本冊子ではマニフェストの書き方や各伝票の運用方法を記載例、フロー図などを駆使しながら説明しています。巻末にはマニフェストについてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の処理を委託する方、される方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ2

産業廃棄物を運搬するときに、守らなければならない処理基準を中心に解説！収集運搬車両の表示板、積替保管する場合の基準、施設（車両）の使用権限から大阪府流入車規制など、収集運搬において必要となる事柄をコンパクトに説明しています。巻末には収集運搬についてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の収集運搬をされている方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ3

許可の有効期限の延長など、産廃処理業者にとって数々のメリットがある優良産廃処理業者認定制度を分かりやすく解説！優良認定を受けるための5つの基準を説明するだけでなく、過不足なく申請事務を行えるよう、チェックリストも収録しています。巻末には優良産廃処理業者認定制度についてよく質問される事項をQ&A方式で掲載！優良産廃処理業者の認定を目指されている方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ4

これは産業廃棄物か一般廃棄物か？産業廃棄物の中のどの種類になるのか？など、廃棄物の適正処理の基本となる考え方や判断基準を中心に解説！廃棄物の取扱説明書として必携の一冊です。ふだんゴミ出しでお困りの一般の方々も、ぜひお読みください。



よくわかるシリーズ5

他業種にくらべ圧倒的に労働災害が多い廃棄物処理業では、廃棄物の適正な処理だけでなく、安全な処理も求められます。本書は産業廃棄物の処理における労働災害の未然防止徹底を目的に作成した一冊です。「労災ゼロ」を目指して、ぜひご活用ください。



編集後記

「静脈産業」ではなく「肝腎産業」

どうしても「静脈産業」という言葉に違和感がある。確かに一般的に使われており、生産サイドの動脈に対して、回収処理サイドの静脈という人体の血液の比喩はわかりやすいのかもしれない。

しかし、静脈産業は見下されているようでなんか嫌な気がする。

産廃を回収して再資源化する割合は、品目によって違いはあるが、排出量で52%がリサイクルされている。年間2億トンが原料や燃料になり、新しいステージで活躍している。特に、原料や燃料が高くなっている現在は、廃棄物は密かな人気が出ている。

感染性や有害性のある処理も同様に社会を担う仕事としてエッセンシャルワーカーと呼ばれる。

人体に例えるならば、血液をリフレッシュして体に戻す、腎臓や肝臓の役割の方がフィットする。かつて月刊廃棄物の村田徳治先生が静脈をやめて「肝腎産業」と呼んではどうかと訴えていた。大賛成である。

渋谷

新「メール会員サービス」のご案内

本会のイベントやセミナーを中心に厳選した情報を随時お伝えするメルマガを新たに発行いたします。会員・非会員問わず無料でご利用いただけますので、配信ご希望の方は以下の要領でお申込みください。

なお、正会員・賛助会員限定メルマガ「**れん楽網 Clean Life オンライン**」はこの新サービスとは別で引き続きご利用いただけます。

申込先アドレス news@o-sanpai.or.jp

件名 メール会員サービスの申し込み

本文 ① 氏名 ② 所属企業・団体名 ③ メールアドレス ④ 電話番号

Clean Life vol.90

編集 公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
組織広報委員会

委員長	高 好 健 二	委 員	河 野 登志夫
副委員長	田 中 公 治	委 員	北 本 かおり
副委員長	片 渕 則 人	委 員	高 田 実佐大
委 員	伊地知 宏 徳	委 員	平 尾 道 哉
委 員	伊 山 雄 太	委 員	福 田 勝
委 員	大 津 佳 之	委 員	山 口 玉 緒
委 員	尾 崎 正 孝	事 務 局	福 原 睦 美

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の許可申請に関する講習会（新規・更新） 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

2023年度 オンライン講習会試験日・対面講習会開催日 近畿地区日程表

受講料	オンライン 対面	新規				更新		特別管理産業廃棄物 管理責任者
		産業廃棄物 収集運搬課程	産業廃棄物 処分課程（※1）	特別管理産業廃棄物 収集運搬課程	特別管理産業廃棄物 処分課程（※2）	収集運搬課程	処分課程（※3）	
		¥25,300	¥39,600	¥37,400	¥56,100	¥16,500	¥20,900	¥13,200
		¥29,700	¥48,400	¥46,200	—	¥19,800	¥24,200	¥13,750
2023年 4月						兵庫会場： 27日(午前・午後) 28日(午前)		兵庫会場： 28日(午後)
5月		大阪会場： 17日(午後)18日(午前) 兵庫会場： 31日(午前)				大阪会場： 16日(午後)18日(午後) 兵庫会場： 30日(午前)31日(午後)		大阪会場： 16日(午前)17日(午前) 兵庫会場： 30日(午後)
6月		京都会場： 7日(午前) 奈良会場： 22日(午前)	大阪会場： 14日(午後)			京都会場： 7日(午後)8日(午前) 奈良会場： 22日(午後)23日(午後)	大阪会場： 15日(午前)	京都会場： 8日(午後) 大阪会場： 14日(午前)15日(午後) 奈良会場： 23日(午前)
7月		大阪会場： 5日(午前) 兵庫会場： 20日(午後)	兵庫会場： 20日(午前)	京都会場： 11日(午前)		大阪会場： 5日(午後)6日(午後) 京都会場： 11日(午後) 兵庫会場： 19日(午前)		大阪会場： 6日(午前) 兵庫会場： 19日(午後)
8月		和歌山会場： 1日(午前) 大阪会場： 9日(午前) 滋賀会場： 23日(午前)				和歌山会場： 1日(午後)2日(午前) 大阪会場： 8日(午後)9日(午後) 滋賀会場： 23日(午後)24日(午前) 兵庫会場： 24日(対面)		和歌山会場： 2日(午後) 大阪会場： 8日(午前) 滋賀会場： 24日(午後) 兵庫会場： 25日(対面)
9月		兵庫会場： 12日～13日(対面) 京都会場： 21日(午前)				京都会場： 21日(午後)22日(午後)	京都会場： 22日(午前)	
10月		大阪会場： 11日(午後) 兵庫会場： 19日(午後) 滋賀会場： 25日(午後)	大阪会場： 12日(午前)	大阪会場： 10月31日～ 11月2日 (対面)		大阪会場： 3日(対面) 11日(午前)12日(午後) 兵庫会場： 20日(午前)	滋賀会場： 26日(午前)	大阪会場： 4日(対面) 兵庫会場： 19日(午前)20日(午後) 滋賀会場： 25日(午前)
11月		京都会場： 15日(午前) 奈良会場： 22日(午前) 大阪会場： 28日(午後)	兵庫会場： 7日～ 10日(対面)			京都会場： 14日(午前)15日(午後) 奈良会場： 22日(午後) 大阪会場： 29日(午後)		京都会場： 14日(午後) 大阪会場： 28日(午前)29日(午前)
12月		大阪会場： 19日(午前)20日(午前)				大阪会場： 20日(午後)	兵庫会場： 5日～ 6日(対面)	大阪会場： 19日(午後)
2024年 1月		兵庫会場： 17日(午前)18日(午後) 大阪会場： 24日(午前)				大阪会場： 10日(午前)11日(午前) 兵庫会場： 16日(午前)17日(午後) 滋賀会場： 24日(午前)	大阪会場： 23日(午後)	大阪会場： 10日(午後)11日(午後) 兵庫会場： 16日(午後)18日(午前) 滋賀会場： 24日(午後) 大阪 23日(午前)24日(午後)
2月		和歌山会場： 6日(午前) 大阪会場： 8日～9日(対面) 兵庫会場： 9日(午前) 京都会場： 20日(午後)	京都会場： 21日(午前)			和歌山会場： 6日(午後)7日(午前) 兵庫会場： 7日(午後)8日(午前) 9日(午後) 京都会場： 21日(午後) 大阪会場： 27日(対面)	兵庫会場： 7日(午前)	兵庫会場： 8日(午後) 京都会場： 20日(午前) 大阪会場： 28日(対面)
3月		大阪会場： 6日(午前)		大阪会場： 5日(午後)	大阪会場： 7日(午前)	大阪会場： 7日(午後)		大阪会場： 5日(午前)6日(午後)

(※1) 新規産業廃棄物処分に追加して、新規産業廃棄物収集運搬を受験することができます。

(※2) 新規特別管理産業廃棄物処分に追加して、新規特別管理産業廃棄物収集運搬を受験することができます。

(※3) 更新処分に追加して、更新収集運搬を受験することができます。

(午前)・(午後)：会社やご自宅から、事前にオンラインで「講義」の動画を視聴し、「修了試験」は上記日程表に記載した試験会場に来場して受験する2段階形式の講習会です。

(対面)：上記日程表に記載した会場で、「講義」と「修了試験」を受ける対面形式の講習会です。

講習会の申込はインターネット申込みのみです。

詳細は講習会主催者のJWセンターのサイト <https://www.jwnet.or.jp> をご覧ください。

